無料 法律相談
相談日　4月25日（水）午後2時～4時
会　場　支部事務所　電話 5390－6021
相談者　北法律事務所弁護士
ご希望の方は、事前にご連絡下さい。

けんせつ北部
（購読料は組合費の中に含まれています。）　定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
板橋（3963）５３２５
練馬（3825）５５２２
豊島（3986）２４７１
※ 北（5390）６０２１
発行人　平塚浩章
発行日　1日、9日、17日、25日

昨年の教訓を基に 北区から原発を無くす

繰り返してはならない 大きな過ち原発推進

多くの組合員が飛鳥山公園に集まり原発反対をアピール

快晴に恵まれた3月11日（日）東日本の大震災から丸一年。あすか山公園に於いて「さよなら原発ＩＮあすか山」と題して大きな集会がありました。黄色のスカーフを首に巻き「原発ゼロの社会に」のプラカードを胸に提げ多くの人たちの参加でこの大会はとても有意義なものでした。

中でも福島から北区に避難している方の体験談や切実な願い等、心を打たれる話に事の重大さを改めて痛感しました。

起きてしまった現実は、どうすることも出来ませんが、この様な事が二度と起きないようにするには原発を無くす事が一番でしょうか？はたしてそんな簡単な問題でしょうか？

放射能という厄介な物質が常に付きまとう為に、なかなか思うようには行かないので本当に歯がゆいですね「文明は人を破壊する」文字通りの時代が来たのでしょうか？

（菅谷通信員）

本部囲碁大会 十条分会矢野さん 初参加でクラス優勝

巻幡多栄子三段の隣がクラス優勝した矢野さんと北支部チーム、小川さん・南さん右端は淡路修三九段

2月に開催された本部囲碁大会で、十条分会・矢野吉男さん（大工）は当初本部囲碁大会参加を決めていた堀田さんが当日に支部で会議があるために代理参加を矢野さんに依頼したところ、負けても良いということで代理参加しました。参加クラスはD級ですが、参加者は皆優勝狙いでランクを下げて来た強者揃いでしたが、矢野さんはそこで、4戦全勝で優勝、同じ北支部から参加した、元本部副委員長・元支部執行委員長小川さん（瓦職）が3勝1敗で準優勝と北支部でワン・ツーフィニッシュを決めました。惜しくも団体戦の入賞は逃しましたが、来年に残しておくと参加者の感想でした。

飛鳥山集会後、王子駅前公園から区内アピール行進

私たちが北区へ要求した 住宅リフォーム助成 継続恒久化へ

署名が大きく貢献した

今年も「住宅リフォーム助成」が継続され恒久的な制度としてスタートします。

新年度からは「住まい改修支援事業」として制度内容は昨年同様工事金額の20％、上限10万円まで助成されます。

長年の地道な要求運動で勝ち取った「住宅リフォーム制度」は、「あんしん住宅支援事業」として昨年、制定されました。

しかし、制度が単年度と云うことであった為、北支部としても継続的な制度として、署名活動など大きく運動を取り組みました。

制度の詳細は今後、機関紙や学習会等を開催していきます。

また、木造住宅耐震助成制度も50万円から１００万円へ増額されました。区の助成制度は他にもありますので是非活用し、地域での仕事確保、地域に根ざして頑張りましょう。

（猪瀬通信員）

切実な思い　3・13重税反対 統一行動　集団・申告

所得税・消費税め重税に反対する北区内行進

今年で43回目を迎える3・13重税反対全国統一行動は全国各地で開催され、私たちの北区でも王子三角公園に250名（内土建60名）参加で開催されました。昨年は3月11日の東日本大震災発生当日直前、午前の開催と云う事もあり参加者の皆さんも記憶に残る開催でした。

あれから1年。9月に発足した民主党野田政権は震災復興、社会保障財源を口実に、国民への信を問う間もなく、早期に消費税増税を国際公約として、財界・アメリカ追従へ国民に背を向けた姿勢を鮮明にしています。

メディアをフル活用し消費税増税やむなしへ巧みに世論誘導を築き上げる現状は、過去の「原子力の平和利用」を掲げ世論誘導を図り（正力氏原子力開発十年史）一変させた原子力導入時を彷彿させてしまいます。

貧困・格差が広がる中の増税は、震災復興の妨げは勿論、私たちの生活や仕事を破壊してしまいます。

今こそ国民本位の税制・税務行政を実現させて国民の“いのち”と“暮らし”を守る政治を心から望みます。

（猪瀬通信員）

▼一年前、東北の地で厖大な数の一瞬の死があった。生あるものには必ず死があると観念も上では知りながらも、突然の身近な者の死は、到底受け入れがたいのが人の心の有り様だろう。▼生き残ったものは、あるいは誤解を恐れずに言えば、生き残されてしまった者はどうすれば良いのだろう。「あなたが死んで、わたしが生きている現実とは何なのか」。この問を胸に抱いて、残された者はこの先を生きて行かなければならない。▼政治も経済も、一切の社会常識を取り払った後に残る「人が生きて死ぬ」という単純な事実を、今こそ人々は、あらゆる想像力を屈指して考えて見なければならない時なのだと思う。そして一心に考え、忘れずにいる事こそが、夥しい死を鎮魂することに他ならない。▼自然の一部である人間が、あるがままの自然の営みである地震や津波に翻弄されたとしても、自然に何らかの意図があった訳ではない。▼「生きて死ぬことの謎」をどこまでも問い続けてゆくことこそを、生きる核として誰もが抱き続けなければならない。共感する者は是非、哲学者・池田昌子の著作を

（小沼）

西が丘分会・大洗＆真岡バスレクは おなかも心も大満足

平成24年３月４日（日）にバスハイクに行ってきました。今回は大洗の方にイチゴ狩り＆寿司食べ放題に行ってきました。参加人数は30人でした。天気にも恵まれていい天気でした。

まず始めに、真岡の日本一の恵比寿様のところに行き、みんなでお参りしました。ここの恵比寿様は鯛ではなく鯉を抱えていました。川に近いことが由来になっているようです。そして次に行ってのが、子供たちも楽しみにしていたイチゴ狩り、「とちおとめ」の食べ放題に大人も負けないとたくさん食べていました。一番多くて47個食べた人もいました。

時間に少し余裕が出来たので次に外池酒造に行き、工場見学そして試飲をさせてもらいました。試飲に出てきたサクランがとても美味しかったです。女性に一番人気だったのは「とちおとめ」を使ったイチゴのお酒だったようです。その後、やっと寿司の食べ放題に向かいました。大洗のイエローポートというところで昨年の震災以降にはまったくお客さんが来なくなってしまい、50人の従業員に対して一日2万円の売上げまで落ちたと従業員さんが話してくれました。案内されて用意ドン！でお寿司の食べ放題が始まり100種類のお寿司を40分間堪能しました。その後、併設された市場で思い思いSに魚介類を購入していました。お昼の後は、「かねふくのめんたいパーク」に立ち寄り、ここでも工場見学と明太子の購入をしました。この工場は震災時約4Mの津波に襲われたところです。写真の展示やお話などでその時の様子がいかに甚大であったかが分かりました。

行きも帰りもバスの中では飲み放題で抽選会やビンゴゲームなどで楽しみ、到着時間予想クイズでは相楽さんが行きも帰りも1分違いでブービー賞を取りました。無事に帰着して解散となりました。参加者の手にはお土産がたくさんでした。来年も分会バスハイクに参加したいです。

6群　中島めぐみ

真岡の恵比寿様は鯉を抱き

北ＰＡＬ総会・建退共と公契約の前進を目指す

2月26日（日）本部ＰＡＬ総会があり、北支部から4名が参加し、黒木副委員長が、会長に再任された。今年の多方面に亘る方針が承認されこれを受け3月8日(木)に第6回北ＰＡＬ総会が開かれた。

黒木会長から、情勢と経過が報告され、平成24年度の方針として会員の拡大・建退共の普及・公契約法の成立への前進が出され、出席会員の拍手で承認され、今後とも、生活して行くために、低賃金・低単価に苦しめられないように活動して行くことを誓った。

総会後、大手企業従事者会議を開き、4月の大手企業交渉に向けての聞き取りをした。

（会長・栗木）

栗木北ＰＡＬ会長

豊王分会・研修会 若手組合員の群参加や 主婦の会再編が話題に

平成24年２月18日（土）・19日（日）に栃木県にある「北区立・那須しらかば荘」で分会研修会を行いました。

群三役の若返りを計りたい、との声が在りましたが、若手組合員の群会議への参加率が悪いので、声を掛けるの難しいとの事でした。

群会議に若手組合員の参加が少ない原因の一つに考えられるのが、60歳代組合員と若手組合員を結ぶ中間世代の組合員が非常に少ないことも群役員の若返りが進まない要因ではないだろうか、との意見も在りました。

又、70歳代の先輩組合員の話では、昔は酒など飲みながら議論をして気持ちを通わせたこともあったとの意見も在りました。

群会議を楽しくして若手組合員の参加を促すような妙案を見つけ出すことが出来ませんでした。私たち豊王分会では、主婦の会が活動を休止してから十数年になります。来年度は仮称「分会主婦の会」として立ち上げてゆくことも検討しました。研修会の参加人員は11人でした。

（石垣登通信員）

十条分会総会 今年は分会再編の年

十条分会は例年の3月31日(日)十条仲原1丁目会館で新年度保険証交換終了後に同所にて分会定期総会が開催された。参加者は来賓を含め全群から参加し総勢46名でした。総会では経過報告・財政報告・新役員提案と共に中央分会と分会再編の経過が報告されました。再編後の分会執行委員会開催に於けるセンター問題をはじめいろいろと議論され、中央分会との最終的な打ち合わせについて十条分会の意見をまとめる方向で確認されました。

豊王総会 今年も仲間と力を合わせ ガンバロウ！

通信員　菅谷政一

第27回目の豊王分会総会が3月25日（日）北支部3階の会議室にて9時30分より開催されました。参加者は29人と大震災のあった昨年と同じくらいの人数でした。

書記長による昨年度経過報告そして各専門部長による報告等があり議題は今年度の活動方針を仲間の皆さんと話し合いいろいろな意見の中で拡大で若い人を組合に誘う方法として分会独自の「婚活パーティー」をやってみたらどうか？と？この意見は2月の研修会でも話題となりどんな方法で行うか？話しを少しづつ煮つめて名案が出るといいのですが？

午後からは懇親会があり半数以上の人が残りアルコールあり、また、手料理ありでおおいに盛り上がり時の経つのも忘れれるようでした。

今年度もわが豊王分会は仲間と力を合わせて組合活動などガンバル事でお開きとなりました。

西ヶ原分会総会 たにし300号達成報告と団結を固める

通信員　井上　栄治

3月25日（日）滝野川会館で早朝より分会総会が開催されました。井上議長の下、経過報告から会計報告、今年度の方針と予算案が提案され議事が進行していきました。昨年は、分会新聞「たにし」が記念すべき300号発行を達成し、本部・支部から多くの方々に祝福を受け、分会新聞作りを牽引していると報告が在りました。又仲間作り運動でも目標達成があり、次年度も充実した分会作りに団結してガンバロウと参加者全員で確認しました。予算で主婦の会が昨年並みの予算の要求が在りました。

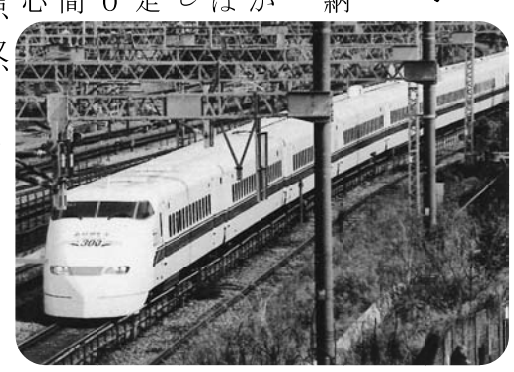
参加者一同で方針を確認する

連載

さよなら日本海 お疲れ様300系のぞみ

豊王分会　菅谷政一

3月16日テレビのニュース等で皆さんもご存知と思いますが、初代「のぞみ」として活躍した東海道新幹線の三〇〇系が東京１０４７でのラストラン。私は田町駅近くで３００系をカメラに納めましたが、平日にもかかわらず沿線は凄い人でした。20年間走り続けた３００系に長い間お疲れ様と心の中で一言、又、同日ブルートレインの大阪―青森の寝台特急「日本海」も定期運行から外され臨時列車として行楽シーズンのみの運転に降格されました。

「日本海」は急行時代も含め四十年以上日本の鉄道を担ってきました。これもこの正月に青森で捉えてきましたが、あの風情ある寝台車が年々なくなってしまい本当に残念です。

残るは上野―札幌の「北斗星」だけになってしまい鉄道ファンの私としては本当に寂しいですね！